

2023 年度 板橋富士見幼稚園の子どもと先生方の暮らしの一つの側面から観察させていただいた記録から気づきを「ふじみ歳時記」としてご報告を申し上げます。

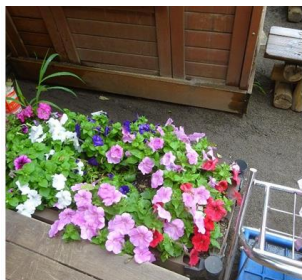
2023 年度 ふじみ 歳時記

1. はる

板橋富士見幼稚園幼児教育センター長
鍋島 恵美

2023 年 5 月 27 日雨のち曇り 新入園児と進級児とが暮らし始めた園舎です。今日は、イチゴジュースやさんの日です。5 歳児がお店屋さんを担当し、4 歳児、3 歳児がお客さんになってやってくる。3 歳児リス組さんのフロアーが、お客さんがジュースを飲む場所になっている。椅子を円形に内側向きに並べてある。お店は、ホールの壇上のすぐ下に 2 台の机を並べて、クラスごとの店屋にしつらえてある。それぞれのクラスでつくった看板やレジスターが置かれている。そこには、5 歳児年長クラスの興味からか文字も書かれている。その文字が、耳から聞いた通りの音声言語が文字化してある。この時期ならではの特征があり、おとながそのこどもの誤りを正し教えるのではなく、こどものありのままを受け入れ心を寄せて読んで味わう“こころもち”がよいなあと感じる。園内行事「ジュースやさん」の始まりまでの間、園庭に目を向けてみましょう。

1. 春の園庭 朝の彩り



夏ペチュニアの苗
色とりどり誇り咲く

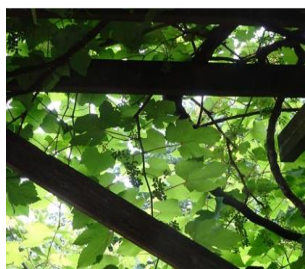


アサガオの 個人鉢
ひとり一人 並んで



畝に夏野菜の苗
列に並んで美しい

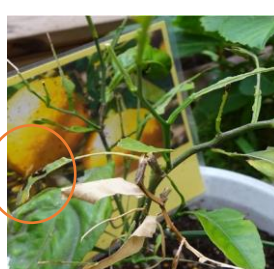
春の園庭 の 夕の彩り



見上げた まばゆい
ぶどう棚の木漏れ日



池の鯉に アジサイに
さす夕陽の美しさ



レモンの木 実りの後
アゲハの幼虫



アズノの実り 橙色
おいしそう



七夕を待つ 笹の鉢
若葉色に染まりし日は…

2. 美しいパラソルの 立ち姿

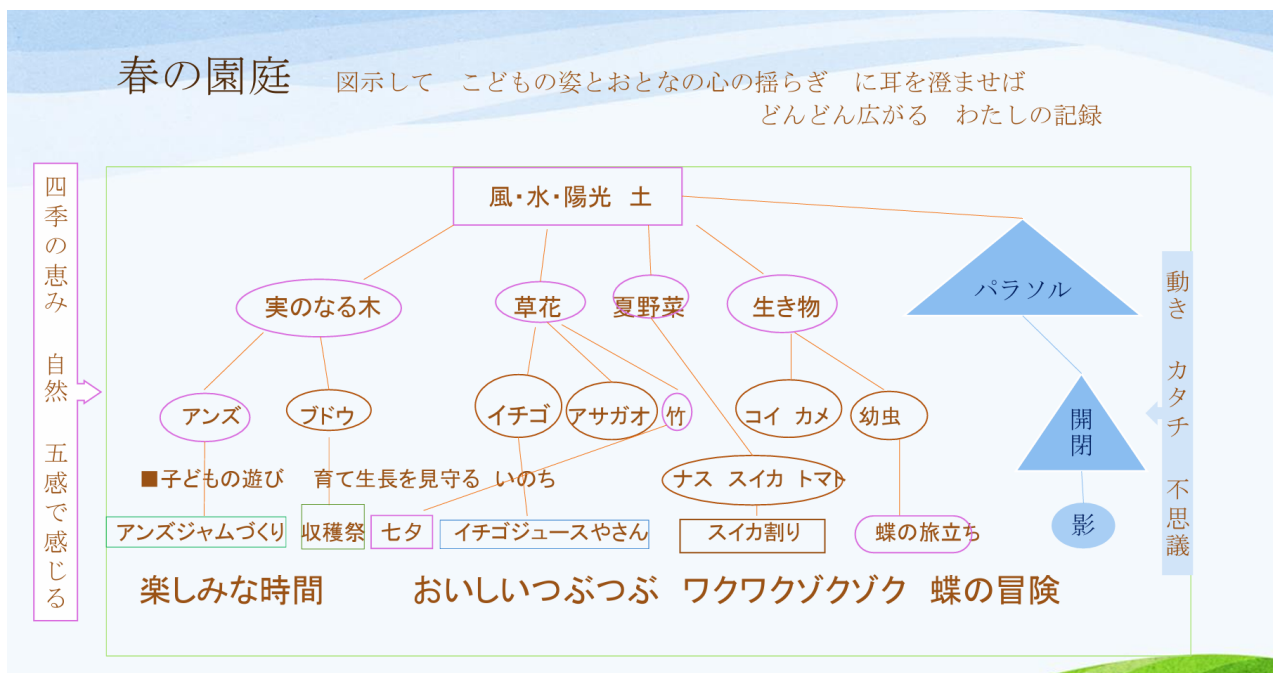


心惹かれたシーンをカメラのレンズを通してみましょう。

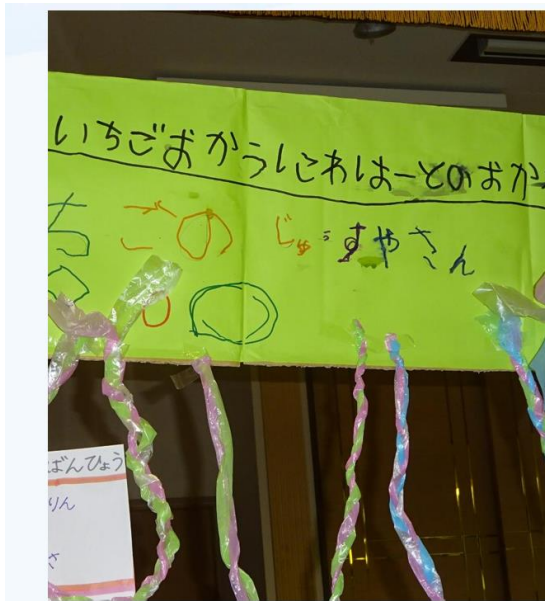
この角度から園庭を見るとこんな風に見えます。

「絵になっている!」「ものの醸し出す
素材感 なんとも言えずきれい」
とを感じるのは 私だけでしょうか…皆さん
はいかがでしょうか…

富士見の春の園庭 自然いっぱいの環境と暮らす子どもと先生方の活動を図示して記録してみると、四季の恵みを五感でいっぱい感じていることが見えてきます。



3. イチゴのジュースやさん はじまり はじまり



文字で表現された看板



絵で表現された看板



開店前に先生からジュースやさんの役割の確認やスケジュールが伝えられる。こどもはよく聞いている。それだけ関心があり、ジュースをつくることに興味と喜びをもっている。コロナ下で3年ぶりの対面ジュースやさんの再開。先生たちが綿密に打ち合わせをされたことが伝わる。

いよいよお店が開店する。お店屋さんに必要なレジスターをつくり、空いている穴にお金入れるとすんと下に落ちてレジに入ってくる仕組みになっている。役割分担がきちんとしていて真剣そのもの。お客さんが次々やって来て、店内に並んだ椅子に腰かけ並んで味わっている。「おいしい」「つぶつぶは種なんだよ」と。



開店準備
ミキサーを固定させる先生の
身体 そばで感じるこどもたち



冷凍イチゴを入れて ゴツゴツ
水・砂糖を入れて イチゴが
プカンぽかんスイッチON ガリガリ



コップに注ぐ 入れる人 コッ
プをかさず人 見つめる先は
溜まっていくジュース!
ストップの加減に集中



いよいよ 閉店

おいしいジュースやさんも予定時間に閉店! クロスをたたむ二人の息。そばでみつめるこどもの視線「うまいなあ…ちゃんと端と端が合ってるなあ…」と感じてみているようだ。たたむ二人の力、クロスをビーンとひく加減がいい塩梅です。

こうして、春の行事のひとつ「イチゴのジュースやさん」が閉店しました。イチゴの苗を育て、収穫をしてその場で味わったり、ジュースやさんをするために収穫したイチゴを冷凍しておいて準備をしていたりの 5 歳児さん。育てて旬を食べる場を先生と一緒に作り上げていく思いがカタチになっていく喜びをいっぱい心と体で感じてきたことでしょう。そして、今日はお客さんだった 4 歳児さんは、次は私たちがお店屋さんになれるという憧れと期待をもったに違いありません。こうして、富士見の園の文化が伝えられていきます。